

第1類

文学部（通信教育課程）第1類では、哲学を主とした幅広い専攻領域を扱っており、所属する学生は、総合教育科目（必修外国語科目を含む）に加え、これらの専攻領域の専門教育科目を中心に学び、また他の類で扱う専攻領域の専門教育科目も横断的に学ぶことで、将来的に自らがめざす学位の専攻分野（学士（〇〇）を指す）や卒業論文のテーマに向け、学修を進めます。

第1類に所属する学生がめざす学位の専攻分野と関係する専攻領域は次の通りです。

学士（哲学）：哲学専攻領域、倫理学専攻領域

学士（美学）：美学美術史学専攻領域

学士（図書館・情報学）：図書館・情報学専攻領域

学士（人間関係学）：社会学専攻領域、心理学専攻領域、教育学専攻領域、人間科学専攻領域

各専攻領域で学ぶことができる内容は以下の通りです。

学士（哲学）

[哲学専攻領域]

哲学専攻領域では、①哲学文献を正確に読解できる能力、②哲学の歴史と多様な諸分野についての総合的な知識、③個別の専門分野に対する深く正確な理解を身につけることを目的として、以下の授業科目を取り扱う。

1. 哲学、哲学史、論理学を軸とする科目。
2. スクーリングやメディア授業といった多様な授業形態により、多様な学生のニーズに応えるための科目。

[倫理学専攻領域]

倫理学専攻領域では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として、以下の授業科目を取り扱う。

1. 倫理学の主要理論に関する基本的な知識を習得するための科目、また倫理学の専門的な知識を習得する科目。
2. 現代社会の問題を手がかりにして近現代の自然観や生命観、人間観や社会観を問い直すための科目。
3. 倫理学上重要な諸理論を詳細にわたって理解し、その先端的研究に触れるための科目。

学士（美学）

[美学美術史学専攻領域]

美学美術史学専攻領域では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として、以下の授業科目を取り扱う。

1. 美学や芸術学、芸術の諸分野に関する概説と各論等の多様な科目。
2. 芸術の諸分野についての十分な学問的アプローチを可能にするため、専門的な文献を使った科目。

学士（図書館・情報学）

[図書館・情報学専攻領域]

図書館・情報学専攻領域では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に定めた総合的な能力の習得を目的として、以下の授業科目を取り扱う。

- ・本専門領域に関する基礎的知識を習得するための、図書館・情報学に関する科目。

学士（人間関係学）

[社会学専攻領域]

社会学専攻領域では、以下の授業科目を取り扱う。

1. 社会学、社会心理学、文化人類学における主要な学説についての基礎的な知識の習得を確実にするための科目。
2. 人間、社会、文化の諸事象に関する社会学、社会心理学、文化人類学からの学問的成果を習得するための幅広い科目を置き、3つの学問に対する個別的学修のみならず、2つ以上の学問分野の融合的な理解を導いていくための科目。
3. 人間、社会、文化の諸事象に関する様々な資料を収集・整理・分析・解釈するための妥当で信頼できる方法および技法が学べる科目を置き、自ら立てた問いを実証的に探求できる力を育てるための科目。

[心理学専攻領域]

心理学の基礎から学び始め、専門知識を習得し、学生本人の心理学的な関心に沿った卒業研究へとつながっていくことを目的として、心や行動のさまざまな側面についてより専門的な観点から深く理解できるよう、心理学の各領域をカバーする心理学科目を取り扱う。

[教育学専攻領域]

教育学専攻領域では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として、以下の授業科目を取り扱う。

1. 教育学の基礎理論に関する基本的な知識を習得とするための科目。
2. 教育学の主要理論に関する理論、方法について習得するため、教育思想史、教育史、教育心理学を学ぶ科目。
3. 教育学上重要な諸問題についてより専門的に理解し、先端的研究、理論、方法に触れるための科目。

[人間科学専攻領域]

人間科学専攻領域では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として、以下の授業科目を取り扱う。

1. 心理学・社会心理学・社会学・文化人類学の知識と方法論に基づいて、人間についての総合的な研究・分析を進めるために必要な科目。